

# 鹿嶋市 「家庭の支えで 園から小学校へ」

～家庭教育と幼児教育と  
学校教育をつなごう～  
(2023年3月)



『主体的に学び 人とつながり 未来をひらく 鹿嶋っ子』

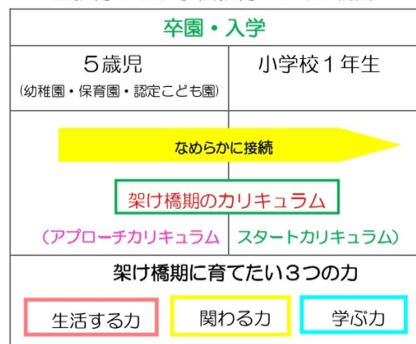
鹿嶋市教育委員会

## 架け橋期（5歳児～1年生）のカリキュラム

（アプローチ・スタートカリキュラムを一体として）

幼児期の自発的な遊びを通して育まれた育ちや学びが小学校以降の教育の土台となります。この幼児期の「育ちと学び」をつなぐことを目的とし、架け橋期の子どもの実態に応じた指導内容を示したものです。

### 園教育から小学校教育への架け橋期



### 『アプローチカリキュラムとは』

小学校就学前の5歳児の期間において、これまでの子どもたちの育ちの確認をしながら、小学校での生活や学習を意識した教育を展開していきます。

### 『スタートカリキュラムとは』

小学校入学後の期間において、園での教育で育んだ力を生かすとともに、学校生活への変化に対応できるよう配慮しながら指導をしていきます。

## 「遊び」が育てる 「学び」の未来

幼児期の自発的な遊びの中で育まれた、やり抜く力や協調性などの※「非認知的能力」が、小学校以降の学びにつながります。

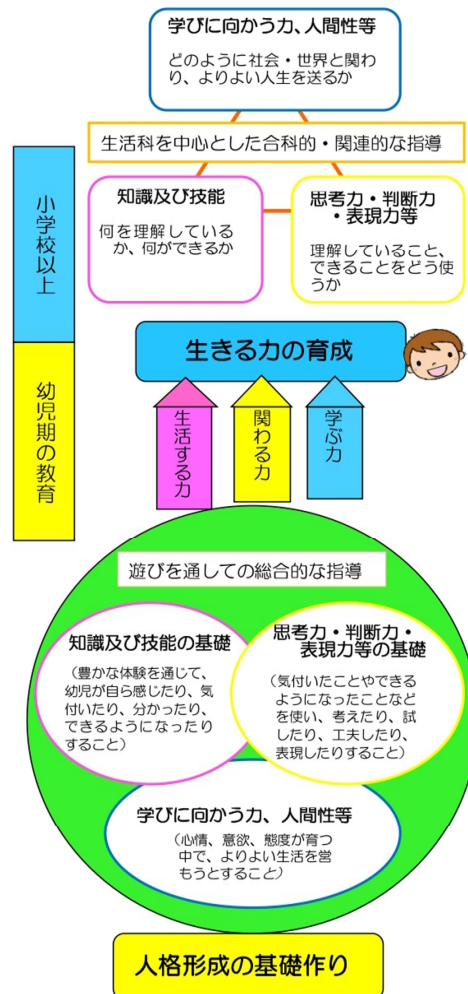
【茨城県教育委員会】

※目に見えない情緒的・内面的能力です。意欲・興味・関心、粘り強さ、協同性、優しさ、勇気などです。これらは幼児期から発達し、学びに向かう力になります。読み書き計算などの能力とは異なります。

## 育みたい資質・能力と

### 接続期に育てたい3つの力

幼児期より育みたい資質・能力「知識及び技能の基礎」「思考力・判断力・表現等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱をもとに「生活習慣を身に付ける＝生活する力」「人と関わる力を育む＝関わる力」「豊かな心と意欲を育む＝学ぶ力」と整理しました。これら3つの力は「生きる力」の基礎となります。



## 気になること Q&A

### Q & A

- Q**・朝ごはんを食べずに登校したら、学校生活に何か影響がありますか。
- A**・集中力がなくなったり、眠くなったりするなど、学校生活に支障をきたすお子さんもいます。毎朝、ご飯を食べて登校する習慣をつけるとよいでしょう。
- Q**・食べ物の好き嫌いが多いのですが、給食では個別の対応をしてもらえますか。
- A**・学校では、無理に給食を食べさせることはしていません。食育を通して時間をかけて少しずつ食べられるようにしています。
- Q**・小学校は徒歩での登校となりますが、安全に登校できるか心配です。何か家庭でできることはありますか。
- A**・ほとんどの小学校で、登校班や学年でまとまった集団登下校をしています。安全な登下校ができるよう、学校においては計画的に交通安全指導を行っています。入学前、お子さんと一緒に通学路を歩き、交通量や危険な箇所について確認するとよいでしょう。
- Q**・小学校入学後、学習面や生活面で困ったことがあった場合、どのような支援を受けられますか。
- A**・まずは、学校・担任の先生にご相談ください。おうちの方と一緒に、お子さんに合った方法を考えていきます。



### 【参考文献】

- 茨城県教育委員会  
「茨城県保幼小接続カリキュラム」平成30年3月  
鹿嶋市教育委員会  
「鹿嶋市アプローチ・スタートカリキュラム」平成30年3月  
文部科学省  
幼保小架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）令和4年3月31日

# 架け橋期（5歳児～1年生）のカリキュラム

～アプローチ・スタートカリキュラムを一体的に捉えて～

「このカリキュラムについて」 このカリキュラムは具体的な子どもの姿を記述してあります。特に幼児教育における記述においては到達目標（～できる）ではなく、育成に向けた教育の方向性（味わう・楽しむ・感じる等）を示しています。



## アプローチカリキュラム 5歳児



## スタートカリキュラム 1年生



1月～3月の姿より

### 生活する力

- ＜生活のリズム＞
  - ・一日の流れや時間を意識し、見通しをもって生活しようとする。
  - ・午睡のない生活に慣れる。
- ＜食事・排泄＞
  - ・食事のマナーを守って楽しく食べようとする。
  - ・一定の時間内に食べ終わることを意識して楽しく食事をとする。
  - ・活動の区切りトイレを済ませる。
  - ・使用後の後始末や手洗いなど、ひと通りの流れを身に付ける。
- ＜身の回りの整理＞
  - ・自分のものやみんなでするものを大切に使う。
- ＜安全＞
  - ・安全な遊び方や災害時の身の守り方を覚える。



### 関わる力

- ＜友達との関わり＞
  - ・ルールを守り、友達と楽しさや喜びを共有して遊ぶ。
- ＜言葉による伝え合い＞
  - ・生活や活動の中で、友達や先生との会話を楽しむ。
- ＜規範意識＞
  - ・約束やきまりを守って生活する。



### 学ぶ力

- ＜数量・図形や文字＞
  - ・生活や遊びの中で数や文字などに興味をもち、楽しむ。
  - ・自分の名前を読み、また、書こうとする。
- ＜自然との関わり＞
  - ・自然と触れ合う中で、発見や気づき楽しさを味わう。
- ＜感性や表現＞
  - ・イメージしたことをいろいろな形で表現し、遊びに取り入れ友達と一緒に楽しむ。
- ＜体を動かす遊び＞
  - ・戸外で体を動かして遊ぶ楽しさを感じたり、いろいろなことに挑戦したりする。
- ＜学び姿勢＞
  - ・友達と共通の目的に向けて考えを出し合い、協力して活動を進めていく。



### 【遊びのプロセス】

興味・関心・好奇心をもってやってみよう遊びを創り出す→遊びへの集中・没頭→遊びの繰り返し→遊びの振り返り

考える・試す・疑問・工夫・こだわり・葛藤・挑戦・協力・達成 など

個の遊び・個の活動・協同的な遊び・探究的な活動が見られます。

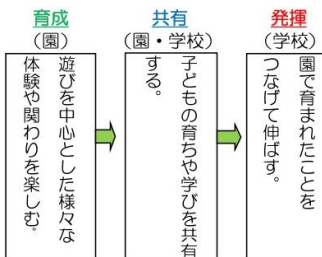
園での育ちや学びを小学校へつなぐ

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を通して、園と学校が子ども一人一人の姿を共有します。

- 健康な心と体
- 自立心
- 協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活との関わり
- 思考力の芽生え
- 自然との関わり・生命尊重
- 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現



### 【園から学校への流れ】



4～5月の姿より

### 生活する力

- ＜生活のリズム＞
  - ・学校生活を知る。
  - ・時刻に合わせて活動することができるようになる。
- ＜食事・排泄＞
  - ・前ボタンのエプロンを着脱し、畳んで片付けることができるようになる。
  - ・大人用の便器に慣れ、休み時間にトイレを済ませる。
- ＜身の回りの整理＞
  - ・手順に沿って担当の場所の掃除をすることができるようになる。
  - ・学習用具の準備や後片付けなど、自分のことが自分でできるようになる。
- ＜安全＞
  - ・交通ルール・通学路を覚え、安全に登下校できるようになる。



### 関わる力

- ＜友達との関わり＞
  - ・友達を作り、友達関係を広げながら仲良く遊ぶ。
  - ・少人数によるグループ学習で、友達と協力する。
- ＜言葉による伝え合い＞
  - ・集団生活を共に活動する中で、言葉で伝え合う楽しさを感じる。
- ＜規範意識＞
  - ・学校のルールやマナーを守って生活する。



### 学ぶ力

- ＜数量・図形や文字＞
  - ・正しくひらがなを読む。
  - ・10までの数について正しい書き方や読み方を知り、順序を理解する。
- ＜自然との関わり＞
  - ・身近な自然を観察し、季節を感じて表現する。
- ＜感性や表現＞
  - ・リズムに合わせて、感じたことを楽しみながら身体で表現する。
  - ・想像をふくらませて、作品をつくらしたり、描いたりすることを楽しむ。
- ＜体を動かす遊び＞
  - ・いろいろな運動や新しい体の動きをまねて、楽しんで挑戦しようとする。
- ＜学び姿勢＞
  - ・友達と仲良く関わり、自分の思いを伝えようとする。



### 【学びのプロセス】

やってみようことを自分で見つけ出す→どうしたらできるか考える→協力してやり遂げる→振り返り

生活科のプロセス 思いや願いをもつ→活動や体験をする→感じる・考える→表現する・行為する（伝え合う・振り返る）

みんなの時間・遊びの時間・生活科の時間・各教科等の時間があります。

生活科を中心とした総合的・関連的な指導

各教科等の中で

- 国語科
- 算数科
- 生活科
- 音楽科
- 図画工作科
- 体育科
- 道徳科
- 特別活動



### 土台となる家庭教育

### 【家庭教育の視点】



早寝早起き朝ごはんなどの、生活リズムを身に付けましょう。

通学路をお子さんと一緒に歩いて、距離感や危険な場所などを確認しましょう。

家族で食事を楽しみ、食の大切さを伝えましょう。

お手本を示し、あいさつや返事の習慣をつけさせましょう。

自分のことは自分でできるように、温かく見守りましょう。

多くの自然体験や生活体験の機会を作り、子どもとともに楽しみましょう。

読み聞かせをして、子どもと一緒に時間を過ごしましょう。

メディアとの接し方を考えて、家庭のルールをつくりましょう。

積極的にお手伝いをさせ、たくさんほめてあげましょう。

不安なことは早めに先生方に相談しましょう。

